



第110期 報告書

(2025.4.1 ~ 2026.3.31)

証券コード 5446



代表取締役社長

加納 愛仁

株主の皆さまへ

第110期の報告書をお届けするにあたり、株主の皆さまの日頃のご支援ご鞭撻に対し厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2026年3月31日をもって、第110期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）を終了しましたので、概況等についてご報告いたします。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかに回復しているものの、物価動向や米国の通商政策の動向などに加え、地政学リスクが高まるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境といたしましては、建設業界における人手不足や働き方改革への対応などにより施工能力の制約が常態化し、建設工期が遅延していることや諸資材価格・人件費の高騰による建設コストの上昇に伴う建設計画見直しが発生している状況を背景に、建設向け鋼材需要が低迷し販売数量が大きく減少するなど厳しい事業環境で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは、収益力向上により長期ビジョンで掲げた利益目標の達成を目指すとともに、将来の成長を実現することで総合的な企業価値を高めることを目的に2025年6月に「中期経営計画2027」を策定し、鋭意取り組んでまいりました。

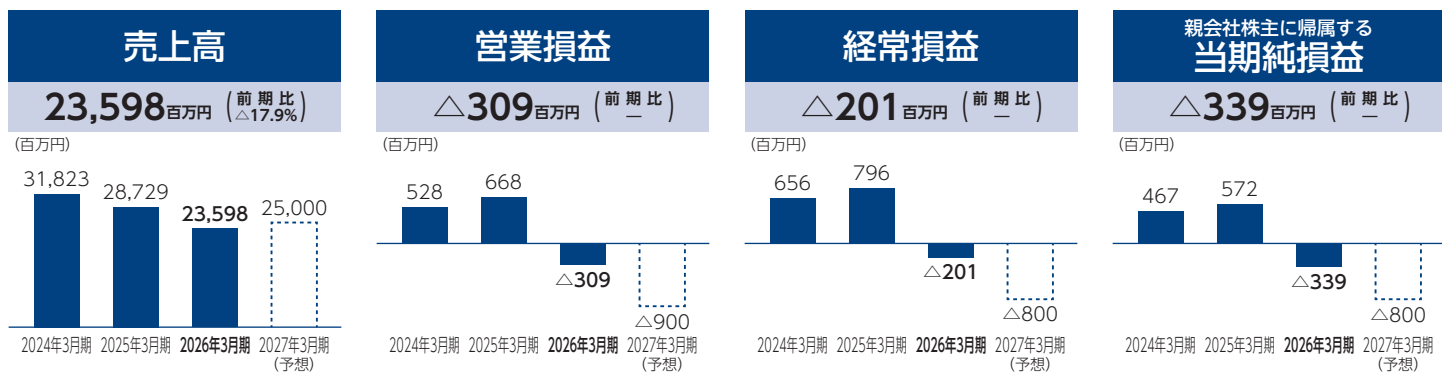
販売面では、製品販売価格への下げ圧力が強まる中、適正なマージンの確保に努めるとともに建設現場の省人化ニーズに対応するプレキャスト工場向け製品の拡販を進めてまいりました。しかしながら、需要の低迷に伴い鋼材市況が弱含みで推移したことに加え、主原料である鉄スクラップ価格が年度後半より高騰し続けたことにより採算性が悪化しました。

一方、製造面では各種改善活動の推進および安定操業に努めてまいりましたが、生産数量減による固定費の負担増などから製造コストが上昇いたしました。

この結果、当連結グループにおける売上高は23,598百万円（前期比17.9%減）、営業損失は309百万円（前期668百万円の営業利益）、経常損失は201百万円（前期796百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純損失は339百万円（前期572百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒格別なご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト (連結)



第111期 (2026.4.1~2027.3.31) 業績見通し (連結)

	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (予想)	増減額
売上高	23,598	25,000	1,402
営業損失	$\Delta 309$	$\Delta 900$	$\Delta 591$
経常損失	$\Delta 201$	$\Delta 800$	$\Delta 599$
親会社株主に帰属する 当期純損失	$\Delta 339$	$\Delta 800$	$\Delta 461$

今後の見通しにつきましては、引き続き鋼材需要の大幅な回復を期待することは難しい状況であることに加え、中東情勢の緊迫化によるエネルギーの安定供給に対する不安など地政学リスクの一層の高まりや米国の通商政策が鉄鋼需給だけでなく世界経済全般に大きな影響を及ぼす可能性があることなど、不透明かつ厳しい経営環境となることが予想されます。

このような環境下、当社グループといたしましては、「中期経営計画2027」の達成に向けた取り組みを精力的に推進し、長期ビジョンの達成を目指してまいります。

2027年3月期の連結業績予想につきましては、売上高25,000百万円と2026年3月期並みの水準を見込みますが、主原料である鉄スクラップ価格や各エネルギー調達コストの急騰および高止まりにより営業損失900百万円、経常損失800百万円、親会社株主に帰属する当期純損失800百万円を見込んでおります。

「中期経営計画2027」の基本方針

企業価値の向上を最上位の目標に掲げ、以下の重点テーマを通じてROE（短期的な収益力）の向上とPER（成長性と透明性）の向上を同時に追求します。

中期経営計画の詳細はWEBサイトをご確認ください。
https://www.hokume.co.jp/stock/post_2973/



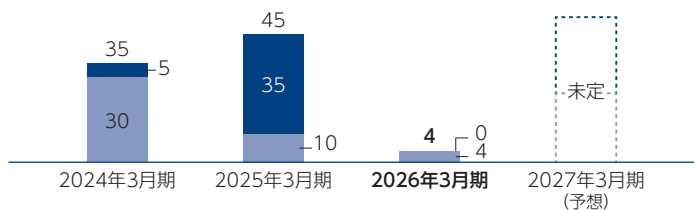
株主還元

期末配当金 無配（中間配当金4円）

連結業績に応じた利益還元の指標は、連結配当性向30%程度を目標としておりますが、安定的な配当継続にも十分な考慮を払ったうえで決定いたします。

上記方針のもと、当期の業績、今後の事業展開などを総合的に勘案いたしまして、誠に遺憾ではあります。期末配当金を無配とさせていただきます。

1株当たり配当金(円) ■中間 ■期末



株主優待

株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主さまに中長期的に保有していただくことを目的に株主優待制度を導入しております。

対象 毎年3月31日現在で100株以上保有されている株主さま
内容 QUOカード1,000円分



会社概要 (2026年3月31日現在)

社名 北越メタル株式会社
創立 1942年(昭和17年)6月23日
資本金 19億6,926万円
事業内容 鉄鋼製品の製造加工並びに販売等
本社 新潟県長岡市蔵王三丁目3番1号
従業員数 387名

役員 (2026年6月23日現在)

代表取締役社長 加納 愛仁 常勤監査役 田村 寛
常務取締役 竹内 征規 監査役(社外) 伊藤 伸介
取締役 南波 義幸 監査役(社外) 石川 了三
取締役(社外) 森田 稔 執行役員 佐藤 雅士
取締役(社外) 渡邊 美栄子 執行役員 山崎 彰
取締役(社外) 渡部 大史 執行役員 遠山 功
執行役員 本間 英幸

株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数 11,190,000株
発行済株式の総数 3,994,000株(自己株式69,688株含む)
株主数 4,209名
大株主(上位5名)

株主名	持株数	持株比率
トピー工業株式会社	1,322,180株	33.69%
伊藤忠メタルズ株式会社	348,200	8.87
株式会社第四北越銀行	188,620	4.81
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	173,800	4.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	139,400	3.55

(注) 1. 当社は業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」および自社株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」を導入しており、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が当社株式66,400株を所有しておりますが、当該株式については、自己株式に含めておりません。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会 6月に開催
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

〔郵便物送付先〕 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031(フリーダイヤル)

公告の方法 電子公告の方法により行います。公告掲載URL <http://www.hokume.co.jp/> ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。